



花火終え 空は星座を 組みなおす

志村 宣子

成長の夏を迎えるために

子どもたちが待ちに待った夏休みはもうすぐそこです。終業式の日には、是非、お子様と一緒に「あゆみ」を広げていただき、生活習慣や一学期の学校での過ごし方を振り返っていただける大切な時間にしていきたいです。そして「二学期はどんな過ごし方をしたいか。」という見通しや目標を話し合ってもらえると幸いです。環境の変化に戸惑いながらも、一学期を全力で駆け抜けた子どもたちに「よく頑張りました。」と心より伝えたいと思っています。



大人にとっての45日間はあっという間ですが、子どもたちにとって夏休みは、身体だけでなく心も飛躍的に成長する大切な期間です。暑い日が続きますが、ゲームやアニメ・動画を見て楽しむだけでなく、本を読んで想像力を広げたり、お手伝いを通して誰かに喜んでもらう体験をしたり、時間に縛られずになにかに夢中になって打ち込む体験をしてほしいと思います。



学校ボランティアにご協力有難うございます

コドモンや自治会等地域を通じた学校ボランティアの呼びかけに対し、多くの方々にご協力いただき心より感謝申し上げます。図書ボランティアは読み聞かせや図書室充実のための常時活動を、プール学習の見守りボランティアは、四人の教職員によるプール



指導と監視以外の細やかなお世話や見守りをしています。家庭科の裁縫の時間には、個別の支援のお力添え、通学路には、欠かさず立哨していただき安全を確保しています。



また、今学期からお願いした清掃ボランティアにおきましては、保護者や祖父母の皆様にご参加いただき、地域の活動支援センターの皆様も参加をご検討いただいています。児童330人の15分清掃では手の届かない箇所やトイレなど汚れが気になるところをピカピカに清掃していただき大変助かっています。



ボランティアの方々にお力添えを受ける中で、子どもたちには以下のことを考えてほしいと伝えていきます。

「してもらうことが当たり前の学校になってはいけない」

「感謝の気持ちこそが人と人の交流が生む」

「いつか将来、誰かに恩返しができる人になってほしい」



至らぬ点も多々あるかと思いますが、皆様の無償の愛に触れる経験は、子どもたちの長い人生のなかで、必ず心の糧になると信じています。子どもたちが地域で愛され、やがて地域に貢献できる人に育つよう、精一杯努めてまいります。

手の届くところに本があるように



昨年度の「学校振り返りアンケート」にて、多くのご家庭で「読書に親しむ機会が少ない」（57.9%）という結果がありました。「時間があればゲームがしたい。」「読みたい本がない。」など理由はいろいろあると思われます。

そこで学校では、子どもたちがいつでも本に触れられるよう、読書のスペースを増やそうと考えています。

もしご家庭で、読み終えて眠っている「小学生向けの本」がございましたら、学校にお持ち込みいただけないでしょうか。ベンチやホールで、子どもたちがゆったりと本に出会える場所を一緒に作っていただけたら幸せです。皆様のご協力をお願いいたします。



一学期、本当にお疲れ様でした。素敵な夏休みになりますように。